

三種町の小中学校 **じゅんさいの日** **給食で旬味わう**



「じゅんさいの日」の1日、三種町の全8小中学校の給食で地元産ジュンサイを使ったメニューが提供され、児童生徒が旬の味を楽しんだ。

メニューはじゅんさい汁と、鶏つくねのじゅんさいあんかけ。町学校給食センターが考案した。森岳小学校(菊谷陽子校長、121人)

では、校内放送で同校がある山本地域がジュンサイの特産地であることを紹介。児童はぬめりのあるジュンサイを箸でつかむのに苦戦しながらも、おいしそうに味わった。

6年の荃沢悠正さんは「ジュンサイが大好き。箸の隙間から滑り落ちて食べるのが大変だったが、とてもおいしかった」と話した。中にはじゅんさい汁をお代わりする児童もいた。

じゅんさいの日は、町森岳じゅんさいの里活性化協議会が特産品をPRしようと2013年に制定。英語の「June(6月)」が「じゅん」、「31」が「さい」と読めることから、本来は6月31日にしたかったが存在しないため、7月1日となった。(藤岡真希)

(令和7年7月2日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)